

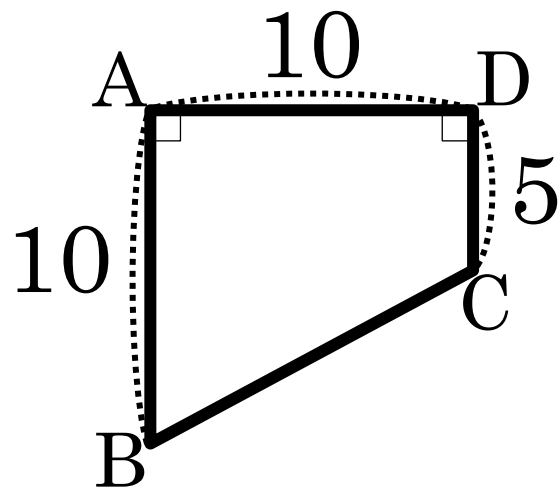
制限時間 **3** 分

まいにち算数-071

図1の台形を底面とする高さが30cmの四角柱と、地面に対して垂直な大きな壁があります。辺CDは壁に平行で、壁までの距離が10cm。光が地面から上に45度の方向からくるとき、図2のように**四角柱の影が地面にできる**。このとき、四角柱によって**壁にできる影の面積は** cm^2

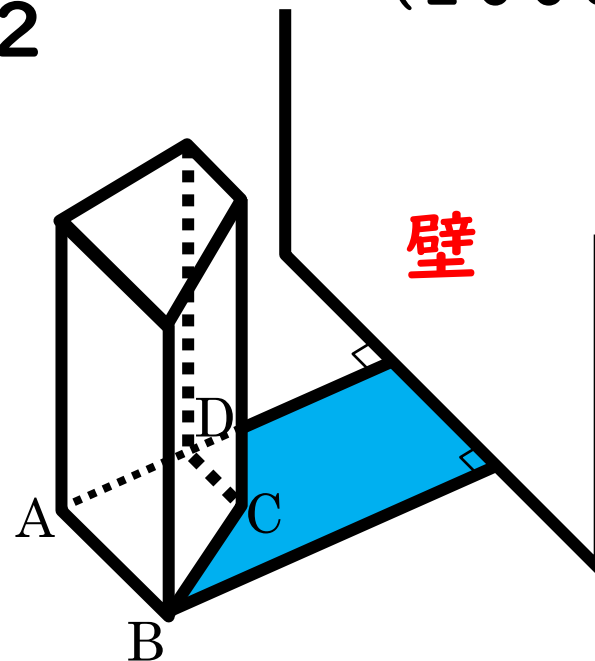
(2003年灘中)

図1



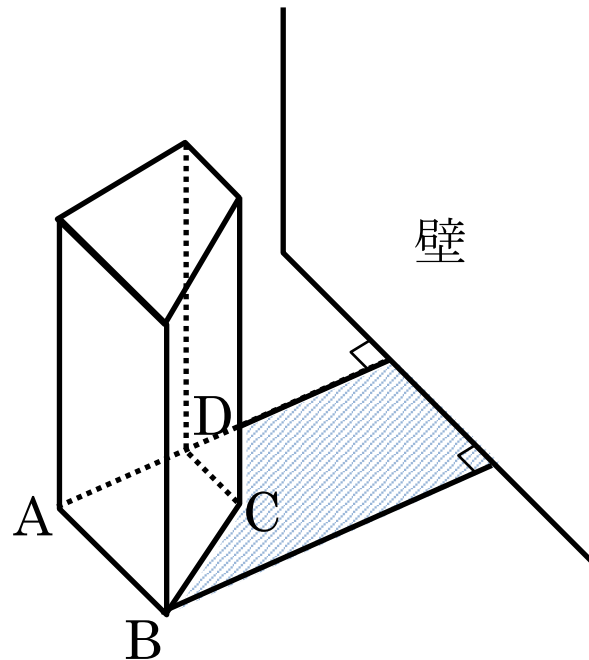
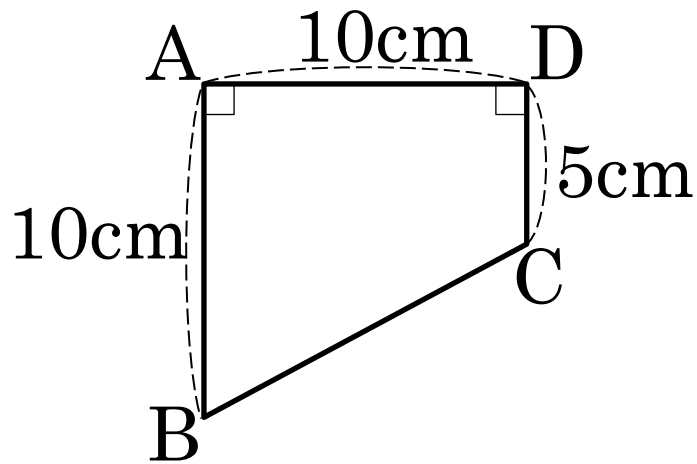
(単位は cm)

図2



まいにち算数-071

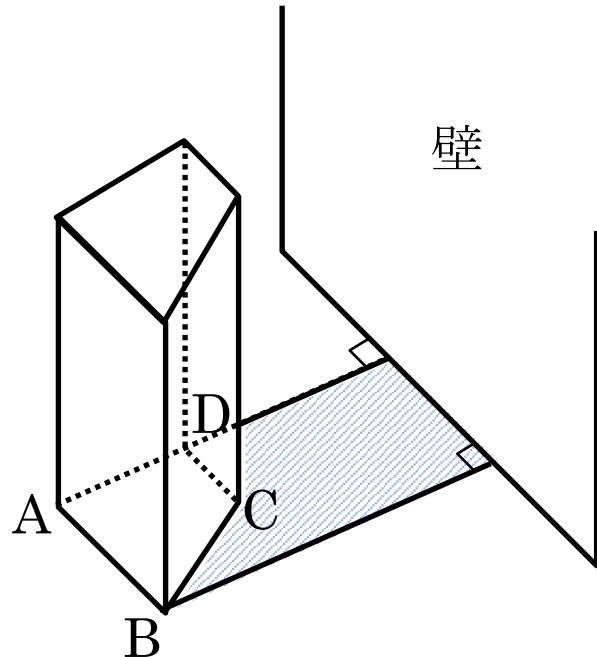
図1の台形を底面とする高さが30cmの四角柱と、地面に対して垂直な大きな壁があります。辺CDは壁に平行で、壁までの距離が10cm。光が地面から上に45度の方向からくるとき、図2のように四角柱の影が地面にできる。このとき、四角柱によって壁にできる影の面積は cm^2



まいにち算数-071

図1の台形を底面とする高さが30cmの四角柱と、地面に対して垂直な大きな壁があります。辺CDは壁に平行で、壁までの距離が10cm。光が地面から上に45度の方向からくるとき、図2のように四角柱の影が地面にできる。このとき、四角柱によって壁にできる影の面積は cm^2

ポイント 横から見た図



まいにち算数-071

図1の台形を底面とする高さが30cmの四角柱と、地面に対して垂直な大きな壁があります。辺CDは壁に平行で、壁までの距離が10cm。光が地面から上に45度の方向からくるとき、図2のように四角柱の影が地面にできる。このとき、四角柱によって壁にできる影の面積は cm^2

ポイント 横から見た図

